

橋詰良一著

「家なき幼稚園の主張と実際」より (十二)

第十九 自動車から電車へ

こうして、自動車で運ばれる子どもの行く先は最初は中之島や天王寺の公園、次には淀川や新淀川の遊園地帯、または長柄橋の方面にある柴島一帯の水源地地方、それを丹念に回っていたものですが、どうも野原らしい心持にはなりにくい。

ついに第四師団の当局に頼んで高い城内の芝原を遊戯場にかしてもらふこととなり、二台の自動車は大きな顔をしていかめしい城門を通過出来るようになりました。

けれどもこれとて窺策たるにすぎないので、高い城壁の上から深い堀の水を見下ろす時などそぞろに恐ろしい心持を呼びおこしておりました。

考えても考えても大阪という大きな都会をはなれて清らかな野

原へ出て行こうとするにはどうしても電車によっていくらかの遠い距離を走らなければならない。

それにはまた前のような考えにもどって「幼児電車」による他はないと考えはじめたのでありました。

丁度その頃割合に乗客の少ない現状にあった大阪鉄道に着目して同情ある回答を得るよう交渉しかけている時でした。大阪市立市民館の組合幼稚園が早くも新京阪電車と契約して、「電車幼稚園」が出現したという新聞記事が見えたので、私の方の交渉も速かにはかどるようとなりました。

それは二台の自動車で集めた幼児を同じようなダイヤグラムによって大鉄の阿部野停車場へ運んで行ってそこから電車に連絡して適当な緑の野へ運び出そうとするのです。即ち自動車と電車の連絡案なのでありますが当時の保育場所として会社の指定してく

れたのは今の矢田の野でありまして、そこに幼児集合所をつくりあげたのは大正十五年の春でした。

自動車から電車への進展を第二期として私の大阪家なき幼稚園は新たな地歩を大阪の幼児界に占め得る機運が招来されたような喜悅にふるえながら十人の若い娘たちと四人の兄ちゃんとは日も時も忘れて勇躍を続けております。

第二十 小学校との連絡

娘と幼児との自然結合と自然愛の発生とに任せて児童愛の道場を広めて行こうとするような万事が自然的な方法をとっているために、どうもすれば第三者から放縦なものに見られたり、また無計画な粗暴なものだと考えられ易い私の園の子どもたちが、はたして園を出てから後の小学校教育界からどんなに見てもらわれるであろうか、あるいは思いがけもない悪評をその子どもの上にもたらすようなことはなかるうか、こんな苦心は普通の幼稚園などを経営する人の夢にも思い及ばぬ程にまで私を強く反省させておりました。

私の主義や方針に対しての誤解は少しも意とするところでないが、子ども自身の上に誤解が落ちて来るようではその子に対して、またその子の親に対しても気の毒だと思えますために、特に

研究的の態度をもっておられる筈の小学校、池田師範学校の附属小学校などへは絶えず先生を参観に行ってもらって、うちの子どもに誤りはないか、うちの子どもにも悪いことはないか、そうして私達のしたことだから善からぬ結果が人の子の上に染めつけられてはいないかというようなことを考慮し、質疑し、反省するようにと努めては来ましたが、幸い今日迄にはあまり大きな欠陥として指摘されるような問題に出会いませんでした。

ほんとにこんな考慮は、新しい道を行こうとするもののためばかりでなく普通人の子どもを普通人の世界に住む同人として見る上からも、決して無用ではないと確信しているものであります。ある先生の日記の一節を録しておきましょう。

◇初めて附属訪問

治子（池田）

午後三時、附属を訪れる。先生方は教員室におられる様子。廊下でバッテリー横尾主事に会い詳しく訪問の由をつげ応接室に案内された。

一年受持の泉田先生が出て来られる。子どもたちから先生の御名をよくよく聞かされていたので何だかうれしかった。運動服を召した先生は、これからバレーボールをなさるところだったようですが特に時間を割いて、私共のために、いかにも御親切にし

かも心地よく話してくださいました。私はまた毎年順々にやんちゃな子どもたちがお世話になっている御礼をこもごものべた。そして教えていただきましたあらましは、

問 一年の我が園からの児童の成績は？

答 殊に、家なき幼稚園という風に統計を取ってみないが、まあ中以上の成績で、至って出来ない子も無ければ今では飛び抜けている子も無い。もちろんまだわからない。物事にはきはきしたところは最もよい。

問 先生の手を殊にわずらわす子は？

答 男の子は全体やんちゃで、どこの子どもも同じです。殊に私の意見は子どもらしいやんちゃはさせてやる。今年の一君は最初随分私を困らせた普通の子とそのごんたが違ふ。今ではまったくよくなつて来たので喜んでゐる次第です。雲雀ヶ丘のK君も同じ神経質でやりにくい。

問 上級生で園から行った子の成績は？

答 よい方でしょう。幼稚園に行つてゐた子どもは学期の初めに気がきく。人なれていて、答えもしてくれる。が一方一分も静かに出来ない。与えられた机の中へ頭をつっ込んだり隣りの友達と話したり、けれど、学期末にはやんちゃはだん

だん落ちついて、おとなしい子は随分やんちゃに同じ様になつてしまふ。

問 知つてゐるふりばかりしません？

答 たいしてそう感じた事はありません。

問 家なき幼稚園に対する先生方の批評は……

答 みんな先生の趣意を賞してられる事を聞いた。泉田先生は殊に御自分の意見をのべてくださった。

○物を教えない

○先生もお姉様になつて遊ぶ

○体の方を重んじる

○室内よりも野外

○なるだけ叱らない

○母様との密接な関係

その上子どもの叱り方、内気な子を活発にする方法など先生の御意見を聞き、また足りない私共の経験話を話して有益にこの日を過ぎた事を喜び帰途についた。

以上はほんの最初の訪問の一節を参考に書いたまでですが、その後も出来るだけの注意をこの方に向けてもつています。特に我が園との連絡を潜在意識としてゐる箕面学園小学校のようなものについては改めて申し上げます。

第二十一 母のお当番と母の教育

前にも度々申しました通り私の幼稚園は、娘と母との協力に成る子どもの国でなければならぬので、娘と幼児との相触れる心の光達距離内へ、「その子の親」としてばかりでなく、一般の幼児の親としての母親を近づけて、識らず知らずのうちに一般兒童愛の理解を深くしつつ自己の心性浄化にも与らせたいと願う趣旨から「母のお当番」という制度を設けました。これは「保母の週番主任制」とともに私の園の最も大切な行事であります。

お当番の誓約 入園の最初に左のような刷物を渡して必ず誓約させることにしています。

池田で使用しているものを参考にお見せいたします。

保育当番のさだめ

真に婦人たちの協力で幼稚園が出来ることは私達最初の試みだと確信いたします。

どうか当番保育にはなるべく御加入を願います。

一、保育当番の順序は別に定めてお知らせ致します。

一、当番の徽章を前日にお返し致しますから、当日はそれをつけて幼児と同じように弁当、水筒を持って御越しください

い。そして一日子どもの連れになってやってください。

一、お差支えがありましたら順番の次の方へ前日に徽章を送ってください。

一、当番が済んだら徽章を幼児園に置いて行ってください。幼稚園から次へ送ります。

一、新加入者は順番を定めて追々御報告いたします。

一、徽章は大切に失わぬように願います。

一、当分は一日一人に致しますが、人数が増したら二人にも致します。

大正十二年六月定

池田家なき幼稚園

このようにして置いてから、いよいよになると母親の全部を任宅順にして表を作って各家庭へ配ります。そして、順次にお当番の徽章を送らせるのです。

お当番の徽章 これを胸につけると「お当番」だということで遠慮なく来園されるという強みも出来ますし、また義務を明らかに示されることとなりますので、大概の母親は出て来られます。

(ほんとにせいたくを嫌う幼稚園ですがこの徽章だけは銀地に保育者当番と七宝にした美しいものにしてあります)

この徽章を一番最初は幼稚園から送りますが、それから後はそれをつけて当番をした母親が、表の次の母へ持って行くのです。ある意味からは、これだけでも子どもを通じての美しい社交になるといっていますが、意外によい結果を得た実例があります。

お当番の日記 「お当番の日記」という帳面を作っております。書ける母たちには何なりと書いてもらうことにしましたが、これは書くことを嫌がる人たちを困らせたようでしたから、大抵は御話などを聞いて、主として週番の主任保母に記入してもらうようにしました。

母たちの日記から

母たち、姉たちの日記の中には、実に驚くべき真剣さが見えます。

最初のうちは当番を面倒がる人が割合に多くて、時には不可能の試みかも知れないと歎じさせられました。少し馴れて来ると誰でもドシドシ園に来る、後には待ちかねるようになって大喜びです。

。

加賀とく子

お当番としてあがるのは初めての私、何となく心がそわそわ、仕度もそこそこサア母アさま早う一緒に行く行こうと子どものニコニコ顔、毎度代りを女中にもらうのを子どもごころにも

気兼ねすると見えて大喜びです。この様を見ると次からは是非とも自分が参りましようと思いました。子どもの国、無邪気で活発なみなさん両のほおをリンゴのようにして寒さもいとわずストーブそっちのけでかけまわる元気よき。とみ子も年中医者の手から離れたことのない弱虫でしたが園児のお仲間入りをしてからすっかり病魔からのがれることが出来ました。これもひとえに先生たちとお友だちのおかげと御礼申します。朝のうちはお遊戯、午後に来たる皇孫殿下のお誕生を祝うための旗をつくる。ほんとうにこの旗こそは純真な心の持主が捧げまつるお国の旗、春になってこれを振って喜ぶ姿が思われます。こうしてお当番に上りますといつまでもいつまでも一緒にいたい心持ちがいたします。帰るのも心残りがいたしました。

。

島 千鶴子(池田)

いつ見ても変わらないのは子どもたちの純な心です。ずいぶんいたずらをして先生たちやおぼちゃんを困らせますけど、それらをみんな子どもたちの純真が補ってくれます。ここは大人の世界に見る事の出来ないきれいな世界であることを感じました。ねがわくは純な子どもたちの心をそのままに、大人の小細工を施すことなしに、素直に成長させたいと祈らずにはいられません。今日一日浄化された心で一緒に楽しく遊びましたことをうれしく思い

ます。またアレキサンダー先生が御親切に英語をお教えくださいますので子どもが熱心にくりかえしているのを見せて頂きましてうれしゅうございました。

田中康子(同)

無邪気な子どもの遊びを見ていると若かえったような気がいたします。家庭にはイツも邪魔あつかいにいたしますが、こうしてお当番に来て見ると心置きなく子どもと遊べるのが結構なことだと思います。(省略)

或る母(同)

六月のある日、お庭には初夏の陽光がいっぱいです。おひるをすませてから子どもたちと出てみますと、お庭の紫陽花がお首をたれてぐったりしています。折から入って来なすったYさんに「どうしてでしょう」とおたずねすると「さあまさか水がたらないなんて事はないでしょうがね。あんまりお日さんの愛撫がつよすぎたのかな」とおしゃれをいわれました。笑いながらどうにかならないものかと花房をいじっていますとさつきからじっと見入っていた千鶴ちゃん(五歳)が「それさわったらいかん」といいます。「どうして」と聞きますと「お花ねんねしてんね」ですって。愚かな二人の大人は呆然と顔を見合わせました。(省略)

母の為の講習会 私の子どもの園のすべては、母のための教育であると考えていますが、直接的なものとしては、いろいろの講習を催します。

一、子どもの遊びまわる範囲に生えている雑草の現地講習(これは春、秋に分けて行います)

一、子どものための食用を主とした、お菓子や、パンや、お料理の講習

一、子どもと一緒に生活することの出来るよう童謡、舞踊、遊戯などの講習(これは幼稚園の先生に教えてもらう方法で)

一、園医たちの子ども衛生講習

一、童謡三絃の講習

一、子ども芸術の講習

一、子ども生活を凝視する方法の講習

数えて行けば限りもありませんが唱歌、遊戯などを子どもと一緒にするのは、非常に愉快なようです。

◇母ちゃんのお遊戯

操子(真面)

近頃大抵のお当番のお母様がお遊戯の中へはいってくださるようになってきました。今日は思いがけない岩崎様子どもと一緒にお

遊戯してくださいましたので、ほんとうにうれしゅうございました。

今年入園児のお母様たちは、みんな子どもや、幼稚園には理解のある方たちばかりでございます。

いらっしやる方もいらっしやる方も、近頃のお家庭の明るさを話してくださいます。

河原様は『晩さんの時は必ず家内総がかりでお遊戯いたしました。妙子が先生で、私や父が教えられます。私は毎日幼稚園へよせていただきますから、下手ながらでもするのですけれど、父が変な格好をするものですから「お父ちゃんは下手やよって、あかん」って妙子がおこるのでございますよ』って話しておられました。

友辺様も「お夕飯の後は必ずお遊戯にきめてありますの、この頃はお父さんまでひっぱり出されますの」ってお話です。忠夫ちゃんの先生、どんなに可愛いでしょう。そして奥様はお当番でない時でも、いらしたらお遊戯してくださいます。盆踊りなんかとてもお上手です。

平野様は『先生近頃沢子が急に元気になったでしょう。家へ帰りましても「お母ちゃんスキップしましょうお父ちゃんスキップしましょう」ってこの頃家の中は大騒動ですの』ってお母様はん

とにおうれしそうです。

清野様も『近頃は幼稚園でお母様方が子どもさんと、お遊戯なすっているって女中が申しますので、私も負けないように毎日おけいこしてましたの。もうこの頃は家内中が幼稚園室で、女中は赤ちゃん片手に盆踊り、お漬物を切るのもお唱歌と、そのにぎやかさは』ってことです。

昨日入園していらした杉田さんの奥さんも『私もお遊戯させて頂きます。それに生まれて、まだ持ったことのないお弁当もたせて頂きます』とのお話でございました。あまりお若くもない奥様がほんとうによろしゅうございました。

こんなによろしいお便りをあちら、こちらから聞かせて頂いて、私たちは毎日喜びに胸おどらせております。

和氣あいあいとしたお家庭の御様子が目に浮ぶようです。子どもを通じてお家庭に接近することはどんなによろしいことでしょう。

(つづく)

* * *